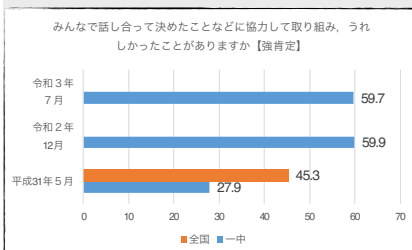
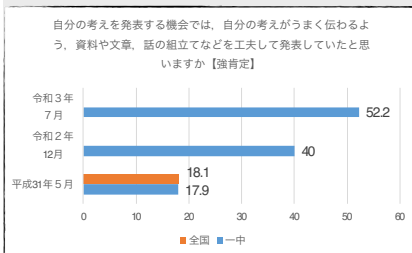
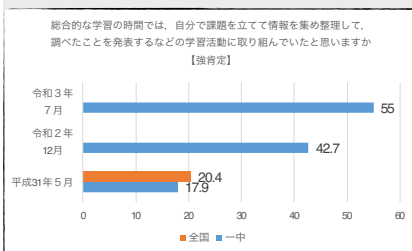
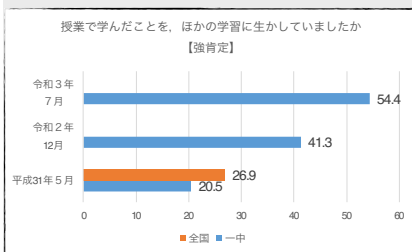
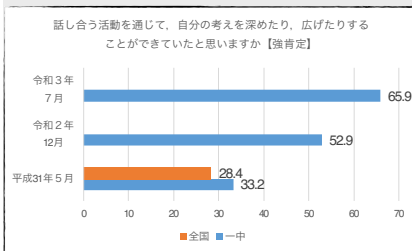


学力向上の取り組みNEWS

～共に学ぼう、共に高め合おう～

1学期末アンケート結果



成果が出てきました

本校では、学校のグランドデザインで示した生徒の皆さんにつけてほしい力（自ら課題解決をする・意見交流で考えを深め広げる）を養うため、総合的な学習の時間を軸とした改革を推進しています。その力が生徒についているのか、また、本校の改革が推進しているのかを見取るため、昨年度より年間3回の生徒アンケートを実施しています。成果の見取り方は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の回答のうち「そう思う」の強い肯定割合の本校の経年変化と、平成31年全国平均との比較することで、進捗を測っています。

左記のアンケートが本校の取組推進を測る5つの項目です。本校が取り組んでいる総合学習を軸とした改革と、この5つの項目の数値に相関関係があるだろうという仮定のもと、2年間取り組みを進めてきました。本校の取り組みはまだまだ進化途中ですが、すでにアンケート結果に変化が見られました。

5項目中4項目は平成31年度（令和元年度）で全国平均を下回っていましたが、昨年から全国の数値を追い抜き、さらに今年度では5項目中4項目で数値の伸びがありました。

総合的な学習の時間を軸とした探究学習や、複数教科での班学習、生徒が主体性を持てる授業形態や課題の工夫、また、一中タイム（朝の時間）や自由に使えるiPadルールなどの制度面・・・学校が変わってきた結果がアンケートに反映されたのではないかと分析しています。

しかし、この結果が得られた最大の理由は、一中生が積極的に学ぼうとしており、学びに楽しさを感じていることではないかと感じています。総合的な学習をはじめとして、「新しい疑問は調べる」姿勢や「共に学び合う」姿があらこちらで見られます。自分の将来を見据え、学校の勉強だけにとらわれず、真摯に「将来の学び」に向き合う生徒も少なくありません。今後も、このような生徒の皆さんの姿勢を学校全体で応援していきたいと考えています。

タネノチカラに研修をしてもらいました

夏休み中に株式会社タネノチカラ代表取締役の金子氏と立ち上げメンバーの奥田氏に来校していただき、「“農”を通じた本質的なSDGs」や「タネノチカラの取組」「現地で実施する中学生向けプログラム」などの内容で研修をしてもらいました。2年生の校外学習先として、昨年夏、本年夏の2回、一部の教員が現地に視察に伺わせてもらい、交流を重ねてきました。残念ながら2年生の校外学習は新型コロナウイルスの影響により内容変更となりましたが、10月4日の午後2時間、タネノチカラに来校していただき、2年生に講演してもらいました。「今まで出会ったどの大学生より、高校生より、中学生より、一中生の事前学習のレポートが素晴らしかった！」とお褒めの言葉をいただき、1学期から学んできた「農とSDGs」についてより考えを深めることができました。タネノチカラに興味のある人はFacebookなどで、事前に連絡をすることで、個人的にも訪問することができます。現地に行った際は、「枚方市立第一中学校の生徒です！」と声をかけてくださいね。きっと喜んでくれると思います。

